

国道4号荒町交差点 交差点の事故対策を行いました。

事故対策①：導流島と右折誘導線の設置

事故対策②：案内標識とカラーレーンの設置

国道4号荒町交差点付近は、1日の交通量が約80,000台と多く、また歩行者の往来も多いため「人対車」や「車同士の追突事故」の事故が多発している交差点です。

平成18年に各関係機関と道路利用者へのアンケート調査を実施し、また地元関係者との意見交換会を開催し、それら結果を基に事故対策を検討しました。

検討した結果、「人対車」の事故が多い箇所については、交差点内の車両の走行ラインを適切なものとするための導流島と右折誘導線を設置することとしました。

「車同士の追突事故」が多い区間については、車線毎の行き先をわかりやすくし、急な進路変更を減らすために、車線別の案内標識と案内用カラーレーンを設置しました。

今回行いました事故対策については、効果を検証するため今後道路利用者の方にアンケート調査を実施する予定です。

国道4号荒町交差点の位置



交差点全景



※ 発表記者会：県政記者会・東北電力記者会・東北専門紙記者会

問合せ先

国土交通省 仙台河川国道事務所 交通対策課長 酒井 宏
電話：022-248-4131(内線 471)
仙台西国道維持出張所 出張所長 向井 秀一
電話：022-226-1493

事故対策①の詳細内容

歩行者を守るため「導流島」と「右折誘導線」を設置しました。

（事故の概要）

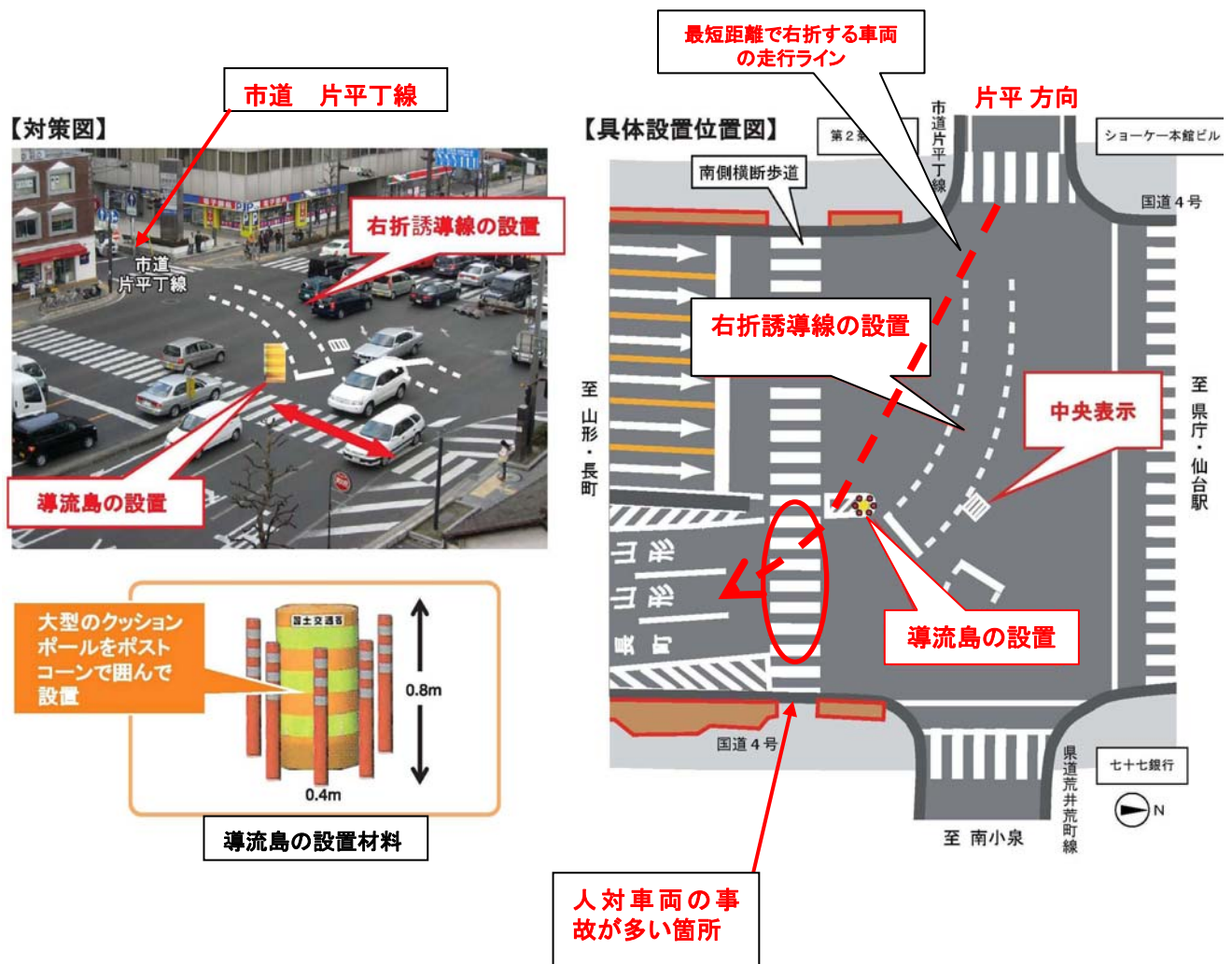
南側の横断歩道付近では「片平」方向よりの右折車両と歩行者の接触事故が多発しています。

（事故の原因）

「片平」方向よりの右折車両は、対向する直進車両が無いため、安易に右折しがちです。また、交差点が広く右折する距離も長いので最短距離で右折するために横断歩道に対して鋭角で曲がり、横断する歩行者を見落とす場合が想定されます。

（事故の対策）

「片平」方向よりの車両を横断歩道に対して適正な位置に誘導するための「導流島」と「右折誘導線」を設置しました。「導流島」は、適正な走行ラインを逸脱した車から歩行者を守る機能もあります。



事故対策②の詳しい内容

車線毎の行き先がわかりやすいように「案内標識」と「カラーレーン」を設置しました。

(事故の概要)

荒町交差点の前後では追突事故や接触事故が多発しています。

(事故の原因)

荒町交差点は、若林区役所方面と長町方面に向かう主要な分岐点となっており、また、前後には仙台駅より合流する市立病院前の交差点と河原町方面と山形方面に分岐する愛宕橋交差点が接近し、走行する車線が多くわかりにくい区間となっております。そのため、行き先の車線がわからずに急な進路変更と推測される追突事故が多発しています。

(事故の対策)

行き先毎に色分けしたカラーレーンとそれに対応する車線別のカラー標識の設置により、若林区役所方面と長町方面へ向かう車線をわかりやすいようにしました。

(カラーレーンは、若林区役所方面がベンガラ色 ■■■、長町方面が水色 ■■■ で着色)

